

産業能率大学 経営学部

アメリカの文化と言語 I	履修年次	2
	単位	2
大瀧 恵、Yih Y. Pan (イー イー パン)	配当期	前
	授業方法	演習/ 対面型

授業の内容

[授業の概要]

授業は次のステップで展開する。①テキストを使いながらアメリカでの暮らし・習慣について知る。②ダイアログを通してアメリカの暮らし・習慣に関する考察を深める。③ダイアログを通してネイティブが会話で用いる英語での表現方法を理解する。④各回のテーマに沿って Web ページなどを活用し、グループやペアで調査・発表・ロールプレイングを行う。⑤英語で発話をする際に気をつけるべき文法事項を確認する。

授業中は日本語または英語で説明を受け理解を深める時間、英語を使って調査する時間、英語で発話する時間を明確に分けて活動する。英語で発話する時間は、シンプルな英語でもよいので、1 文でも多く英語を紡ぎ出そうと心がけること。日本にいなからアメリカでの暮らしや習慣を疑似体験し、グローバルコミュニケーションに役立てていく。アメリカの文化や暮らしに興味がある、または海外語学研修などのアメリカでの学びに興味がある学生を歓迎する。



この科目の到達目標

- ・アメリカに住む人々の暮らしや習慣を具体的にイメージし、説明することができる。
- ・英語で記載されている Web ページや案内を理解することができる。
- ・ペアワーク、グループワークなどでクラスメイトと協調・協働して、英語での表現の幅を広げることができる。
- ・ネイティブに近い発音で会話することができる。

成績評価の方法

- ①授業の出席率、②授業外学習の提出率、③課題の提出率、④2 回の小テストの合計得点

S評価 次のすべてを満たす場合

- ①100%、②100%、③100%、④80 点以上。これに加え、授業への主体的な参画していること、課題の完成度が高いこと

A評価 次のすべてを満たす場合

- ①12 回 (85%) 以上、②80%以上、③100%、④60 点以上。これに加え、課題の完成度が標準以上と評価できること

B評価 次のすべてを満たす場合

- ①10 回 (70%) 以上、②60%以上、③50%以上、④40 点以上。

F評価 次のいずれかに当てはまる場合

- ①5 回以上の授業欠席、②60%未満、③0%かつ⑤が 40 点未満

※小テスト 2 回の実施と、第 9 週と第 14 週に Research project のまとめを課題として提出する。

週	授業項目	週	授業項目
1	オリエンテーション 自己紹介 アメリカと日本の文化の違いを考える	8	アメリカの人々にとっての食事
2	新しく出会った人との会話とコミュニケーション	9	アメリカのレストランでの振る舞い方
3	近隣に住む人との会話と若い世代が使う英語表現 Block party について	10	アメリカの人々とスポーツ
4	アメリカの交通事情 バスと地下鉄について	11	アメリカでの居住 都市部と郊外での生活環境の違いについて 小テスト②への準備
5	アメリカの交通事情 タクシーについて	12	アメリカでの居住にかかる費用とその支払い 小テスト②
6	アメリカでの車の運転 カルフォルニア州の例	13	アメリカでの銀行口座開設、預金・引き出しについて
7	アメリカでの車の運転 車を借りる 小テスト①	14	アメリカの紙幣と貨幣